

とんぐい村のごみ・すく通信

令和4年1月24日発行 第22号

更別村コミュニティスクール委員会事務局(教育委員会)

子どもたちへの応援メッセージ

今年度は7件の応援メッセージが子どもたちに届いています。その中で各学校1件ずつご紹介します。

更別小学校6年家庭科ミシンの授業〈10月15日、22日〉に、支援に入ってくださった9名の地域の皆様【梶浦・草深・瀬田川・請川・佐藤・酒井・宗像・石井・岡さん】から



- 皆さんに久しぶりに会い、大人になっていてびっくりしました。身体が大きくなっていただいたのは勿論ですが、物事に取り組む真剣さや集中力が高まっていると感じました。
- 私たちも支援させてもらいましたが、子どもたち同士で教え合ったり助け合ったりしている姿は素敵でした。「どうぞ。」と椅子を持ってきてくれるお子さんもいて、思いやりがある子たちだと思いました。元気をもらいました。
- やる気が十分で、目をキラキラさせながら一生懸命作品作りをしていた姿が印象的でした。
- 丁寧に作品をつくっていました。さすが6年生!
- ものすごい必死に取り組んでいました。作品が出来上がった時には「できた!」と喜び、ものをつくりあげる達成感を感じていたようでした。
- 玉結びをするのが大変なお子さんもありましたが、とにかく前向きで一生懸命でした。
- 1回目は作品作りが進むか心配な面がありましたが、2回目になると縫うことに大分慣れてきて、ほぼ全員が仕上げることができました。完成させようとする意欲がすばらしかったです。
- 感謝状までいただき、ありがとうございました。
- 出来上がったバックに「お菓子を入れる」などいろいろ使い道を考えていましたね。自分がつくったバックです。大事に使ってくださいね。

子どもたちから支援してくださった地域の皆様への感謝のメッセージが改めて届いています。

上更別小学校3、4年生総合的な学習に時間に「牛や牛乳」の授業をしにくださった家常直輝さんから

地域の酪農家 6月25日に授業

今回初めて皆さんに「牛や牛乳」についての授業をしました。

うまくいくか心配でしたが、みなさんはよく話を聞き、たくさん自分の意見を発表してくれたので、話をしている私も楽しくなりました。

- 私は牛を飼って35年になります。牛は命に限りがある生き物であるからこそ、なるべく自然のままで育てて命を大事にしたいと思っています。
- 牛乳をはじめ私たちが食べたり飲んだりしているものは、命あるものからいただいています。また、生産者が時間と愛情をかけて育て、多くの人がかかわってできあがったものです。それを忘れずに、おいしくいただいてほしいと思います。
- 私の話を聞いて、少しでも牛や牛乳に興味をもってくれるとうれしいです。そして、これからも活発に意見を出し合って、お互いに成長していってくださいね。



更別中央中学校1年生に社会科「世界の国々についての理解~ケニアから~」の授業をしにくださった石井優子さんから

青年海外協力協会職員 11月4日に授業

皆さんに「ケニアの国」についての授業をさせていただきましたが、とにかく、めちゃくちゃ楽しかったです。

- 皆さんは反応がよく、私の質問に対しても積極的に自分の考えを発表してくれました。
- 真剣に話を聞き、素直に知識を吸収しようとする姿に触れることができ、私自身が大変楽しく気持ちよく授業をすることができました。ありがとうございました。
- アンケートを見ると、皆さんが始めケニアに対して感じていたことの多くは「野生の王国」でしたが、授業後は「ICT産業が発達していて、日本より進んでいる」「思っていたより教育制度が進んでいる」「都会の人とスラムの人との生活の違い」など、多くのことに気づいていました。伝えなかったことが理解されていて、授業をして本当によかったと思いました。
- 私の話を聞いて、少しでも海外に興味をもってくれたらと思います。情報を鵜呑みにするのではなく自分の目で実際に見て体験することがとても大切です。

